

平成18年4月21日

公正取引委員会 様

前略

今朝、新聞を見たら「公取、民営郵政に注文」という記事がありました。

その中に「全国一律のサービス提供」が要求されているか、公取委はこの規制を撤廃する必要か、と強調。と書かれています。左か、本気でその様なことを考えているとしたら、それは狂気の沙汰と言わざるを得ません。

こういう発想は、都会に住み、何の不自由故暮らしている役人の思いっぴに過ぎません。

あなた方は、毎に何通の手紙を書いて出しますか？

今日ある郵便の「利便性、記録性」を知りたい人間の考えで、悲しいことです。

小泉政権のもてで、5年間、訪主の本経の様にお口を開けば「規制緩和、規制緩和」と騒ぎ立て、結果するところ、吹けば飛ぶような年金で生活を営む低所得層と言われる我等老人は、生活が苦しくなるばかりです。

「全国一律のサービス提供」の規制撤廃の前に諸外国での民営化も実施した国々から、従来のサービスを維持出来なくなりサービス低下した実態をしっかりと勉強してから、もの言ってください。

「全国一律のサービス提供」のしほりにあたる水辺、利益の上回るエリアを以て商売をすることにはなることは、火を見るより明らかです。いうところのいいところだけです。過疎地や離島は誰か郵便を届けてくれるのですか？ あなた方が届けてくれるのですか？

民営化と言うことは、利益を上げることから本質です。から、利用が少ない地方や、過疎・離島で商売が業者は

いせん。

規制緩和で参入する業者は、当然「首都圏・中部圏  
近畿圏」と言った利用者が多く、運送費など諸経費など  
効率性の高い地域に集中して営業することになり、  
サービス低下は目に見えていゝです。(ほかの地域での商売)  
規制緩和では、益々不便になり、サービスは低下  
するに付てす。

あなた方は、郵便事業の現状あることについて、  
新式の郵便制度が明治末年、前島密によって創設  
されてから今日までの135年間のについて、勉強を  
してからそのを言てくたさい。

今の郵便事業は、あまりにも身近にあって空気の様な  
もので、本当の困難味に分ていないのです。

規制緩和して、現行の様にはかきか50円、封書か  
80円で、沖縄、北海道の利用や鹿児島へ手紙を届ける  
る会社あると思ひますか？当然全国一律の「しかり」が  
なければ、いいところとなりなるから、50円も80円でも  
商売にならなないのですから、今の料金の何倍、何十倍と  
なるのは、目に見えていゝです。(地方と過疎・離島のた)

こんなことには力をく使わないて、国と協力して  
社会保険の解体してくたさい。

何れ汗もかかなくて、郵政破産者か将来の  
ための積立てた、お金を湯水ののごとく使て箱物  
を作り、異同然の値段で処分、まったく言語道断です。

社会保険など公取集には関係ないなどと  
あなた方の給与はどこから出ているかを考えれば、当然  
庶民のために働かなければいけなことで  
なりす。

どうぞ、もう一度、しかりと郵便事業の現状というものを  
勉強し、将来のために信頼され、期待される仕事をする  
公正取引委員会として発展することを希望します。

もうかっても、二度と「全国一律のサービス提供」の規制  
撤廃など言ひ出さないよう重ねてお願い致します。

敬具